E-Guardian News Release

報道関係者各位

2026 年 10 月 21 日

イー・ガーディアン株式会社

総合ネットセキュリティ企業 イー・ガーディアン

芸能事務所向け「誹謗中傷 AI 監視ソリューション」を提供開始

～脅迫・住所特定・高額転売などのリスク投稿を網羅的に収集。証拠保全から削除要請の支援まで～

イー・ガーディアン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：高谷 康久、以下「イー・ガーディアン」）は、2026 年 10 月 21 日（水）より、芸能事務所やタレント・クリエイター事務所向けに、「誹謗中傷 AI 監視ソリューション」のベータ版の提供と先行導入企業の募集を開始いたします。本ソリューションは、SNS・掲示板・口コミサイトなどを横断して所属タレントに関する誹謗中傷や危険投稿を収集し、事務所と合意した基準による AI のスコアリング、画像・動画を含めた専門オペレーターの判定、証拠保全、プラットフォームへの通報・削除要請の支援までを一貫して行うものです。2026 年 9 月 18 日（金）に発表した 5 つの AI 監視ソリューション※1 のうち、芸能領域の「誹謗中傷監視」にあたり、先行導入企業との検証を経て、順次正式提供へ移行します。

※1 イー・ガーディアン「生成 AI 時代の誹謗中傷・なりすまし・誤情報に、AI 戦略で対応」（2026 年 9 月 18 日発表）

E-Guardian
We Guard All

【サービス提供の背景と狙い】

■多様化・深刻化するタレントの SNS リスク

SNS はアーティストとファンの大切な接点である一方、所属タレントに対する誹謗中傷や虚偽情報、脅迫、個人情報の拡散、なりすまし、高額転売、さらには生成 AI を用いた不適切コンテンツなど、様々なリスクの起点にもなっています。昨今は法整備やプラットフォーム事業者の規制強化が進むなど、社会全体での実効性ある対策が強く求められています。加えて、こうしたリスクは突発的かつ短時間で拡散するため、現場では削除要請や弁護士・警察への相談、注意喚起・事実訂正など、複数の対応を並行して進めなければなりません。

■ホットラインへの通報だけでは、把握できるリスクに限界

ホットラインや公式 SNS の DM、問い合わせフォームなどの従来の通報窓口は第三者からの情報提供が前提となるため、未通報の投稿や拡散前の兆候は捉えきれず、担当者が SNS を常時検索するのも工数と網羅性の両面で限界があります。結果として、把握されないまま残ったリスク投稿がタレント本人の目に触れるおそれもあります。

■リスク検知後の証拠保全・対応管理も担当者の負担に

問題となる投稿を把握した後も、同一事象に関する投稿・通報の整理、対応要否の判断、証拠保全、削除要請や弁護士・警察への相談、対応結果の確認など膨大な業務が続きます。これらの情報がメールや表計算ファイル、担当者ごとの記録に分散すると、対応漏れや確認の遅れといった二次的なリスクにつながりかねません。

このような背景を受け、イー・ガーディアンは、長年の投稿監視業務で培った運用ノウハウと AI 技術を活用し、「誹謗中傷 AI 監視ソリューション」を開発しました。

【「誹謗中傷 AI 監視ソリューション」について】

SNS・掲示板・口コミサイトなどで 1 社あたり月数十万件規模にのぼる関連投稿から、リスク投稿の収集・判定・証拠保全、プラットフォームへの通報・削除要請の支援、対応状況の管理までを当社がワンストップで担い、芸能事務所には「対処すべき案件」だけを通知します。投稿を収集して知らせるだけで終わらず、これら全てを一つの管理画面で完結できる点が最大の特長です。これにより、SNS 監視や情報整理に伴うリソース圧迫を解消し、対応漏れ・遅れを防ぐ迅速なリスク対応と、担当者がコア業務へ集中できる環境の両立を実現します。また、判定に用いる AI には、当社が 25 年以上にわたり投稿監視の現場で蓄積した判断のノウハウを学習させています。

■4 つの特徴

1. SNS や掲示板などを横断し、所属タレントに関わるリスク投稿を網羅的に収集

所属タレント名やグループ名、愛称、出演イベントなどをベースに、各種 SNS・掲示板・口コミサイト・転売サイトといったあらゆる公開情報を AI が 24 時間 365 日収集します。単なる語句検索にとどまらず、過去にリスク投稿が確認された公開アカウントの動向も注視することで、タレント名などを含まない投稿や拡散前の兆候もいち早く検知。さらに、公演やイベントの期間中は、会場名や日程などの条件を加えて監視を強化します。

※管理画面はイメージです。投稿文を含むデータはすべて架空です。

2. SNS で検知した投稿と、ホットライン・DM に届く通報を一ヶ所に集約

SNS・掲示板で検知した投稿と、公式 SNS アカウントへの DM、ホットライン、問い合わせフォーム、社内報告で寄せられた通報を一ヶ所に集約して一覧化します。同じ事象に関する情報は一つにまとめ、リスクの種類や優先度を付与して表示するため、窓口ごとに同じ事象を確認する手間を解消できます。

3. 事務所と合意した基準で AI がスコアリングし、画像・動画は専門オペレーターも加わって判定

導入時に事務所と合意した基準に沿って、集約した情報を AI がリスクに応じてスコアリングします。画像や動画を含む投稿は、AI だけではリスクの見極めが難しいため、専門オペレーターの目視確認も組み合わせて判定。写真から自宅などの場所を特定する投稿や、生成 AI で加工された画像などの見落としを防ぎます。

高リスクのものや判断が分かれるものも専門オペレーターが確認し、事務所が動くべきものだけをエスカレーションします。これにより担当者がすべての投稿に目を通す必要はなく、対応の要否に関わる最終的な判断のみを行っていただく設計です。

4. 証拠を保全し、通報・削除要請の支援から対応状況の管理まで

対応が必要であると判定した投稿は、本文・画像・投稿者のプロフィール・URL・取得日時を証拠として保全します。各プラットフォームへの通報・削除要請に必要な証拠と投稿情報を整え、事務所による申出を支援。案件ごとに対応内容・結果・次回確認日を記録し、対応状況を一覧で管理できます。

■提供概要

提供開始日	2026 年 10 月 21 日（水）ベータ版の提供・先行導入企業の募集を開始 ※先行導入企業との検証を経て、順次正式提供へ移行予定
対象	芸能事務所、タレント・クリエイター事務所、VTuber・ライバーの運営組織など、複数の所属タレントに関する SNS リスク対応を行う企業。 ※スポーツチーム・選手会など、所属する個人を守る立場の組織も対応可能。
対象媒体	X、Instagram、TikTok、YouTube、掲示板、口コミサイト、転売サイトなど。 ※記載のないサービスも、ご相談に応じて対応。
主な提供内容	・専用システムの提供：検知・対応状況を一元管理できる管理画面 ・運用：AI と専門オペレーターによる収集・判定・証拠保全、削除要請の支援 ・導入/伴走サポート：アカウントの初期登録、判定基準の策定、定期運用レビュー
確認体制	AI による収集は 24 時間 365 日対応。専門オペレーターの目視・緊急対応については導入時に事務所ごとに取り決め。
価格	個別見積（初期費用＋月額費用） ※ベータ版の提供は無料。

※記載されている会社名およびサービス名は、各社の商標または商登録標です。

【AI 戦略統括部 統括責任者　コメント】

イー・ガーディアン株式会社 AI 戦略統括部 統括責任者／シニアディレクター　山田 喬

SNS は、所属タレントがファンとつながる大切な場である一方、誹謗中傷にとどまらず、脅迫や住所の特定、待ち伏せの予告など、本人の安全に関わる投稿の起点にもなっています。こうした投稿は日々膨大な数にのぼり、エゴサーチやファンからの通報の確認だけで全体を把握するのは困難です。一件ずつ削除を求める以前に、そもそもどこにどのような投稿があるのかを把握できないため、本来対処すべき投稿が手つかずのまま残されています。その結果、いつ、どのようなリスクがタレントに降りかかるのか、誰が危害を加えようとしているのかも分からないのが現状です。

本ソリューションで当社がまず担うのは、投稿を網羅的に収集し、リスクの全体像を把握するお手伝いです。そのうえで、どの投稿に対処するべきかという判断基準の策定まで、事務所の皆さまに伴走します。所属タレントの活動を支えるという本来の業務に事務所の皆さまが力を注げるよう、リスク投稿への対応にかかる負担の軽減に取り組んでまいります。

【イー・ガーディアングループ 概要】

1998 年設立。2016 年に東証一部上場。2022 年に東証プライム市場へ移行。イー・ガーディアンはネットパトロール、カスタマーサポート、デバッグ、脆弱性診断などネットセキュリティに関わるサービスを一気通貫で提供する総合ネットセキュリティ企業です。センターは、提携先を含めてグループで国内 8 都市海外 3 都市 18 拠点の業界最大級の体制を誇ります。昨今は Fintech・IoT 業界への参入や AI・IT 活用による DX 推進、セキュリティ関連サービスの拡充など、時代を捉えるサービス開発に従事し、インターネットの安心・安全を守っております。

■イー・ガーディアン株式会社 会社概要

代表者　　：代表取締役社長　高谷 康久
所在地　　：東京都港区虎ノ門 1-2-8 虎ノ門琴平タワー8F
設立　　：1998 年 5 月
資本金　　：1,967 百万円（2026 年 3 月末日現在）
業務内容　：ブログ・SNS・掲示板企画コンサルティング/リアルタイム投稿監視業務/ユーザーサポート業務/オンラインゲームカスタマーサポート業務/コンプライアンス対策・風評・トレンド調査業務/コミュニティサイト企画・サイト運営代行業務・広告審査代行サービス業務/人材派遣業
URL　　：https://www.e-guardian.co.jp/